

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦舞
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃぼつくすよろづや 株式会社BOX4628		
代表者職・氏名	代表取締役 滝沢直也		
制作団体所在地	〒171-0014		
	東京都豊島区池袋3-1-12-702		
電話番号	03-6907-0569	FAX番号	03-6734-0567
ふりがな 公演団体名	おきなわでんとうくみおどり しーのかい 沖縄伝統組踊「子の会」		
代表者職・氏名	子の会代表 喜納吏一		
公演団体所在地	〒901-2226		
	沖縄県宜野湾市嘉数2-11-11-202		
制作団体 設立年月	2015年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり 取締役:岡本雅人 役員・相談役:織田紘二 (元 独立行政法人日本芸術文化振興会顧問)	沖縄伝統組踊「子の会」 会長:喜納吏一 琉球舞踊「重踊流」二世宗家:志田真木 ※当団体の活動に賛同し、琉球芸能委に携わる実演家、および関係者 ※加入条件:団体規程	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	取締役:榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	税理士 大塚康正 おおつか税理士事務所

制作団体沿革	2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く 2015年 法人格を取得 2015年 日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める 2017年 「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2018年 「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2019年 「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2020年 「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 2021年 「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体) 沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所		
学校等における公演実績	2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校 「落語教室」6校 2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校 「落語教室」10校 2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校 「落語教室」10校 2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校 2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校 2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校 2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校 2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校		
特別支援学校における公演実績	2016年 「組踊鑑賞会」 1校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有
		※公開資料有の場合URL	第1部 https://youtu.be/4sLeRvE8kVk 第2部 https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/>
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有
		※公開資料有の場合URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: <input type="text"/> PW: <input type="text"/>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【第1部】</p> <p>①琉球舞踊『四つ竹』(踊りこはでさ節) 種類:古典女踊り 振付・監修:志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊立方」(各個認定)人間国宝、琉球舞踊重踊流宗家</p> <p>② 琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介とあらすじのお話</p> <p>③「沖繩ことばクイズ」・「楽器紹介」・「沖繩音楽ミニコンサート」</p> <p>④「エイサー演舞発表コーナー」 演舞曲:「安里屋ユンタ」(安里屋節) 種類:沖縄県八重山民謡/作詞:星克 ★代表児童・生徒による演舞発表コーナー</p> <p>【第2部】</p> <p>⑤ 組踊『万歳敵討』の作品紹介とあらすじのお話</p> <p>⑥ 組踊『万歳敵討』 種類:仇討物/作者:田里朝直/初演:1756年尚穆王冊封の宴で上演 監修:宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊立方」(各個認定)人間国宝</p> <p style="text-align: right;">公演時間(90 分)</p>			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要 (※別添あり)	<p>●琉球舞踊『四つ竹』(プログラム①) プログラムの始めに沖縄の空気や風を感じていただきます。竹で作られたカステットのような鳴り物、四つ竹を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。衣装は沖縄を代表する伝統的な染色技法で染められた、艶やかな紅型衣装を身にまとい、頭に花笠を被り、(歌詞)「四つ竹を打ち鳴らし鳴らして、今日はこのようなおめでたいお座敷で、踊り遊ぶことの嬉しさよ」と優雅に華やかに踊ります。</p> <p>●「エイサー」と「安里屋ユンタ」(プログラム④) エイサーは昨今では全国的に広まった沖縄の民俗芸能です。1603年から1606年にかけて当時の琉球王である尚寧王の知遇を得た浄土宗の「袋中人」が仏典を踊りながら唱える「念仏踊り」を伝え、沖縄独自の仏典踊りの形態であるエイサーへと発展したと言われています。今回、演奏される「安里屋ユンタ」は、古謡の「安里屋ユンタ」ではなく、1934年に標準語でレコード化された曲となります。安里屋は屋号を意味しており、ユンタとは八重山民謡の形式の1つです。八重山諸島で歌われる仕事唄、労働歌です。</p> <p>●組踊『万歳敵討』(プログラム⑥) 首里に高い位の高平良御嶽という、とても傲慢な人がいました。高平良御嶽は大謝名の比屋という人が飼っていた、よく走る立派な名馬を欲しがっていました。高平良御嶽は大謝名の比屋に譲ってくれるように頼みますが、断られたことを恨みに思い、大謝名の比屋を殺してしまいました。殺された大謝名の比屋には、2人の兄弟がいました。兄は謝名の子、弟は慶雲と言います。父を殺された兄弟は、旅芸人に姿を変えて仇討ちの機会を狙っています。最後に仇討ちを遂げることが出来るでしょうか。終盤の兄弟が敵意を剥き出しにして高平良御嶽に迫ります、その気迫に満ちた息の合った舞踊と所作、それを必死にかわそうとする高平良御嶽、緊張感のある緊迫したシーンが見どころです。</p>			
演目選択理由	<p>琉球舞踊は、18世紀から19世紀中頃にかけて琉球王国で大成した古典舞踊と、その演技技法を基礎として明治以降に創作された雑踊からなる舞踊です。組踊は1429年の琉球王国成立後、1719年に琉球王府の踊り奉行であった玉城朝薫によって創始されました。能楽、歌舞伎、上方芸能を見聞きし、それらを参考に琉球の歴史や故事や説話を取り入れて創りだされたのが歌舞劇「組踊」です。</p> <p>琉球舞踊『四つ竹』は、古典女踊りの中でも名作であります。足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法があり、様式美の見どころが多い演目です。組踊『万歳敵討』は、沖縄伝統芸能の3要素「琉球古典語」「琉球古典音楽」「琉球古典舞踊」が入った組踊の演目の1つです。本公演のプログラムは、舞踊→音楽→芝居の順番で紹介しながら進めることで、観る(舞踊)、聞く(音楽)、感じる(芝居)構成となっています。こうすることで児童・生徒の理解力を深め、興味関心を促し、発想力の向上と共にコミュニケーション能力を育むことが出来るのではないのでしょうか。また沖縄伝統芸能の2つの大きな柱である「琉球舞踊」と「組踊」、そして児童・生徒の参加で行われる民俗芸能の「エイサー」、この沖縄独自の伝統芸能と民俗芸能を3本取り入れた公演内容とすることで、知識や体験を通じ、芸術鑑賞能力の向上に繋がることの出来るプログラムであることから、本公演の演目を選択致しました。さらには、琉球舞踊『四つ竹』の振付・監修に志田房子氏、組踊『万歳敵討』の監修に宮城能鳳氏、各分野の人間国宝にご指導を賜り、芸術性を高め、完成度の高い作品をお送り致します。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>代表児童・生徒による、エイサー演舞の発表をしていただきます。演舞曲は「安里屋ユンタ」(沖縄県八重山民謡)です(プログラム④)</p> <p>①代表児童・生徒は、本公演1部の最後に、舞台袖で支度してもらいます。体操着の上に打掛け(衣装)を羽織り、帯を締めて、手にはパーランクーとバチをそれぞれ持ちます。他の児童・生徒は、代表児童・生徒が支度している間、ステージ横に設置したスクリーンに映し出される安里屋ユンタの歌詞を見ながら、案内役と一緒に地謡の演奏「安里屋ユンタ」に合わせてお囃子(手拍子)の練習を行います。</p> <p>②代表児童・生徒の支度が整ったら地謡の演奏に合わせて、体育館内のそれぞれの決まった場所へ移動します。いよいよエイサー演舞の発表です。地謡の生演奏で「安里屋ユンタ」の曲に合わせて演舞を行います。他の児童・生徒は練習したお囃子(手拍子)で盛り上げます。会場全体が一体となり、楽しい雰囲気を作り出します。</p> <p>※代表児童・生徒は、本公演当日、公演の前にリハーサルを行って本番を迎えます。</p> <p>※地謡とは、琉球舞踊、組踊の上演の際に、伴奏を行う、三線・箏・胡弓・笛・太鼓の演奏家の皆さんのことを言います。本公演に於いて体育館ステージの右側に台組をして正座をして演奏致します。</p>			
出演者	<p>組踊立方(9名):玉城匠、田口博章、上原崇弘、伊藝武士、山城峻称、下地心一郎、高井賢太郎、佐辺良和、金城真次 ほか、子の会OB、賛助出演者</p> <p>舞踊家(3名):志田真木(琉球舞踊保存会伝承者、重踊流二世宗家)ほか、流派から2名</p> <p>地謡(6名):喜納吏一、大城貴幸 仲尾勝成、棚原健太、徳田泰樹、宮里和希、大城健太郎、町田倫人、入富西論、池間北斗 ほか ほか、子の会OB、賛助出演者</p> <p>案内役(1名):西村綾織、上原信次、玉城匠 ほか、子の会OB、賛助出演者</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 19 名</p> <p>スタッフ: 6 名</p> <p>合計: 25 名</p>		<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量: 2 t</p> <p>車長: 4.7 m</p> <p>台数: 1 台</p>

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	2	時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時20分	9時30分～ 11時30分	13時30分～15時	10分	15時15分～ 16時15分	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		600名程度			
	本公演		800名程度			
ワークショップ 実施形態及び内容 (※別添あり)	<p>○1時限目:初めに琉球舞踊の基礎知識をお話して、次に琉球舞踊の手踊りを3種類体験して頂きます。組踊も同様に基礎知識をお話して、組踊の男女の座り方を体験して頂きます。次に沖縄芸能に欠かせない楽器「三線」を紹介して音色を聞いて頂きます。最後にエイサーの体験です。児童・生徒にパーランクーを配布して、三線の演奏と唄に合わせて、八重山民謡「安里屋ユンタ」のエイサー演舞を体験して頂きます。こうして「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」3つの芸能を紹介し体験し、知ってもらうことで本公演への興味関心を促します。</p> <p>○2時限目:代表児童・生徒と、本公演に於いて演舞を行うエイサーのお稽古の時間となります。代表児童・生徒はパーランクーを持ち、振付や打つタイミングを練習します。指導者が丁寧に指導致します。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>○1時限目:児童・生徒が、初めて沖縄芸能という舞台芸術の素晴らしさ、魅力を識り「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」に触れる貴重な機会となります。様々な沖縄芸能を観て、聞いて、体験を通して、興味関心を促すと同時に、発想力やコミュニケーション能力を育み、作品を通して感じたり考えたりする芸術鑑賞能力の向上に繋がりたいと考えます。</p> <p>○2時限目:一流の技芸員と身近に触れあう貴重な時間です。代表児童・生徒には、この時間を通して、芸能に主体的に真剣に取り組む姿勢を、指導者から感じて欲しいのです。この経験を通して、達成感を感じ、成功体験へ繋がられるように導くことで、何事にも自信を持って取り組み、自分の力で新たに何かを生み出すこと、答えを導き出す能力向上にも繋がることでしょう。琉球芸能の振興、繁栄には、後進の育成が重要です。将来の芸術家の育成に繋がる一助となるよう取り組ませていただきます。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>ご担当の先生との連絡を密にとり、普段どおりに行事などを行っているかなど詳しく教えて頂き、多くの児童・生徒が参加出来るよう工夫致します。共演、参加の形態も、ご無理の無いように可能な限り参加していただき、よく相談して進めさせて頂きます。</p> <p>上演中、児童・生徒がより良い鑑賞が出来るように、上演時間、鑑賞方法、舞台関係の準備など調整いたします。作品の内容は特別変更する必要はございません。上演時間は普段の時間割に合わせて対応致します。休憩時間の長さや回数など細やかに対応致します。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先 No.2

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

演目概要

おきなわ伝統芸能
『琉球舞踊』と『組踊』
本公演プログラム
【第1部】

- ① 琉球舞踊『四つ竹』上演
・お客様をおもてなしする時に、踊られる舞踊です
- ② 琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介と、あらすじのお話
・案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように、丁寧にお話します
- ③ 「沖縄ことばクイズ」
・沖縄県の方言ウチナーグチを、クイズ形式で紹介します
- ④ 「地謡(演奏家)による楽器紹介」
・地謡のみなさんが、5種類の楽器を紹介します。それぞれ短いフレーズのメロディを演奏します、音色を聞いてみましょう
- ⑤ 「沖縄音楽ミニコンサート」
・古典音楽、沖縄民謡、現代音楽の各ジャンルから、それぞれ1曲ずつ演奏します、音色の違いを聞き比べてみましょう
- ⑥ 「エイサー演舞発表コーナー」
・演舞曲:「安里屋ユンタ」ワークショップと本公演までの練習の成果を発表してください



琉球舞踊『四つ竹』上演のシーン



案内役が丁寧にプログラムを進めます



沖縄ことばクイズスクリーンに投影します



地謡(演奏家のみなさん)



地謡の生演奏による、児童・生徒のエイサー演舞シーン

本公演プログラム
【第2部】

- ⑦ 組踊『万歳敵討』の作品紹介とあらすじのお話
・案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように、丁寧にお話します
- ⑧ 組踊『万歳敵討』上演
・終演後カーテンコールを行います



組踊『万歳敵討』上演のシーン
弟の慶雲(左側)、兄の謝名の子(中央)
敵の高平良御鎖(右側)

リンク先	No.3	【公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」】
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』 ワークショッププログラム 【1時間目】</p> <p>① 琉球芸能についての、お話 成立ちや、基礎知識を丁寧に、お話します ☆ホワイトボードや黒板などを使って、お話を進めます</p> <p>② 『琉球舞踊』の特徴の紹介と体験 手を使った表現(手踊り)と、歩き方 ☆ 手を使った表現(手踊り)を紹介します 「招き手」「こねり手」「かえし手」です。 幸せを呼び込み、その幸せを皆さんにお配りする、という思 いが込められています ☆歩き方は、足を上げず、足の長さ分だけ進む摺り足です</p> <p>③ 『組踊』の特徴の紹介と体験 役柄によってセリフ(唱え)分けをする 男女の役によって座り方が違います ☆セリフ分けは、老若男女で全て違う、話し方をします ☆男女の役柄で座り方を体験します。左足を立て膝にして、 膝頭が身体の外側に有るのが男性、内側に有るのが女性の 座り方になります</p> <p>④ 三線とパーランクーの構造や 音色を紹介します ☆三線、竿の部分は黒木、 胴の部分は木材の枠に、 ニシキヘビの皮が張ってあります</p> <p>⑤ エイサー体験コーナー 演舞曲:安里屋ユンタ 児童・生徒、全員に、パーランクーとバチを持ってもらい、 指導者が前に立ち、振付を繰り返し覚えながら、 エイサーの体験です</p> <p>⑥ 質問コーナー 児童・生徒が、初めて触れる琉球芸能の、 疑問・質問にお答えします</p>	 <p>琉球芸能のお話をしている様子</p>  <p>児童・生徒が手踊りをしている様子</p>   <p>左が男性役、右が女性役の座り方</p>  <p>三線</p>  <p>パーランクー</p>  <p>衣装</p>  <p>パーランクーを持って エイサー体験の様子</p>	
	<p>ワークショッププログラム 【2時間目】</p> <p>☆エイサー演舞のお稽古の時間となります</p> <p>① 代表児童・生徒全員にパーランクーを持って もらいます。</p> <p>② 正しい、パーランクーの打ち方をお伝えします</p> <p>③ 振付をいくつかのパートに分けて、繰り返し練習します</p> <p>④ 最後に、三線の演奏「安里屋ユンタ」の曲に合わせて 通しリハーサルを行います</p>	 <p>三線の演奏に合わせて 通しリハーサルの様子</p>	

■重踊流について■

「琉球舞踊重踊流」は、志田房子（国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者）を初代家とし、伝統を受け継ぐとともに、新たな作品の創作にも取り組んでいます。

■子の会について■

「子の会」は、国立劇場おきなわ組踊研修修了者で構成された会です。3年間の研修修了後も、互いに自らの技芸の向上を目指すことを目的に設立されました。

組踊の伝承者としての活動を通して、文化遺産である組踊をはじめとする沖繩の伝統芸能の世界を多くの人に知ってもらい、それを次世代へ継承していくことに精力的に取り組んでいます。

■出演■

琉球舞踊「重踊流」
沖繩伝統組踊「子の会」

■琉球舞踊監修■

志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者

■組踊監修■

宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」（総合認定）保持者

■企画制作■

株式会社 BOX4628（ボックスよるづや）

「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

令和3年度

文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』

でんとうげいのう りゅうきゅうぶよう

くみおどり

1部

琉球舞踊 上演作品 『四つ竹』 古典女踊り

琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

『沖繩ことばクイズ』『楽器紹介』

『沖繩音楽ミニコンサート』

『安里屋ユンタ』エイサー演舞発表コーナー

打って！唄って！踊ろう！

2部

組踊 上演作品のあらすじとおはなし

組踊 上演作品 『万歳敵討』 仇討物

(組踊：ユネスコ無形文化遺産)





■琉球舞踊とは

沖繩は、1879(明治12)年に沖繩県が設置されるまで、琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

- ①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって育まれた「古典舞踊」
- ②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた大衆的な「雑踊」
- ③戦後につくられた「創作舞踊」

さんしん
三線



こぎゅう
胡弓



こと
箏



ふえ
笛



ひらづりだいて
平吊太鼓



しめだいて
締太鼓



■組踊とは

台詞、音楽、踊り(所作)によって構成される演劇(歌舞劇)のことです。組踊は、琉球(今の沖縄県)の新国王認証のため中国から派遣された冊封使をもてなすために玉城朝薫によって作られ、1719年に初めて上演されました。

朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇からヒントを得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

今年2021年は、組踊がはじめて上演されてから302年目となります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C44	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」				制作団体名	株式会社 BOX4628			

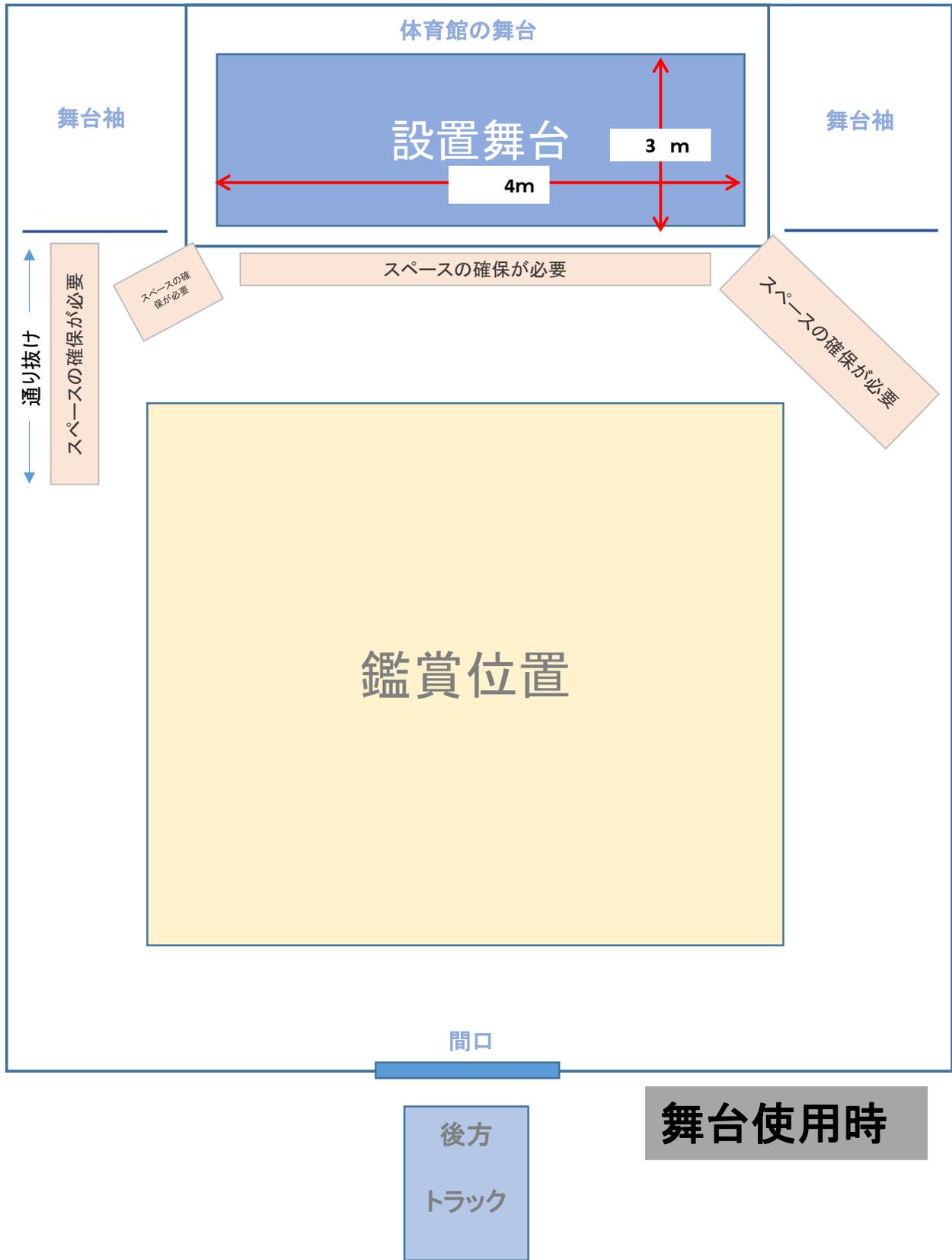
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	2室	条件	男性、女性の着替え用のため、カーテンがある部屋が希望です。広さが十分確保されていて仕切りが可能であれば、1室でも構いません。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	大型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック(車長4.7m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路が望ましい				可	
	理由			重量のある音響機材や、寸法の大きい大道具があるため				/	
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.5m		可	
WSについて	参加可能人数		600名程度まで					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	なし			—		
	所要時間の目安 単位:分	90分					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			800名程度				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	4m	奥行	3m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			可能な限り片付け整理された状態				可
		緞帳 *		不要		バトン *		不要	
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要		理由		—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要					—
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			60A以上		※主幹電源の必要容量			可
	その他特記事項							応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.5m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.5m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

